

現有社員適性検査【通常バージョン】 診断結果サンプル 1/2

CUBIC 個人特性分析		個人詳細
--------------	--	------

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内向性	社交意識が低い		35
	客観性	思考的思慮深い		47
活動型	身体性	機敏な・気軽な		64
	気分性	感情のまま行動		54
努力型	持続性	几帳面・忍耐力		39
	規則性	常識的・順法的		48
積極型	競争性	勝気な・積極的		44
	自尊心	気ぐらしが高い		53
自制型	慎重性	見通しをつける		50
	弱気さ	取越苦労・遠慮		54

■この人の中心性格は「活動・身体性」および「積極・自尊心」であるが、「自制・弱気さ」や「慎重性」、「気分性」などといった側面も

●「活動・身体性」及び「活動・気分性」が軽く思っていたことを素早く解決していく人である。また、環境に適応できる。

多少、思索性に欠けるのがやや難。行動的であるが情緒的にもわりあり安定しており、ソラリズムが揺れる生活ぶりではない。ときには手がけた仕事を途中で放りだすといった気分屋的な所があるが、現実的発想もできる。感覚的な部分もあるものの、キチンと理詰めな考え方もある。

●もう一方の性格特性

内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分が欠ける。

2 どういった関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺型			47
客観・科学型			50
社会・経済型			53
心理・情緒型			35
審美・芸術型			50

人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。

信頼係数は、この診断自体が信頼できるものか（受検者が嘘をついていないか）を表しています

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、およその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			55
協調性			65
責任感			42
自己信頼性			44
指導性			56
共感性			59
感情安定性			
従順性			
自主性			
モチベーション			

仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。

「協調性」「責任感」など受検者の社会性が分かります

4 どういったことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成欲求			60
自律欲求			56
求知欲求			47
危機耐性			42
勤労意欲			64
顯示欲求			43
支配欲求			56
親和欲求			48
秩序欲求			38
物質的欲望			39

困難な目標や難しい事に挑戦し、達成に向けて努力する。

仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

多様な価値観や人間関係、状態を認め理解しようとする。モノやお金、資産などに未練を持たずあっさりしている。

■この人は「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。

現有社員適性検査【通常バージョン】 診断結果サンプル 2/2

CUBIC 個人特性分析 **診断分析**

東京 太郎

【仕事に立ち向かう姿勢】

01 : 積極性
02 : 責任感
03 : 自主性
04 : 達成意欲
05 : 勤労意欲

【組織だって仕事を進める能力】

01 : 指導性
02 : 協調性
03 : 共感性
04 : 親和性
05 : 従順性

【心理要素イメージ】

眉の太さ : 指導性
瞳の直径 : 達成意欲
鼻の高さ : 顯示欲求
顔の輪郭 : 性格類型
逆三角顔 = 思索型
エラ顔 = 積極型
細長顔 = 自制型
眉の傾き : 従順性
目の傾き : 達成意欲+求知欲求
口の形状 : 親和欲求+協調性
丸顔 = 活動型
角顔 = 努力型

【判定結果A】予測推定値 (見所)

(1) 一般的職場状況での可能性	47
(2) 海外など精神力の必要な職務	45
(3) 足腰のよさが武器になる職務	44
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	42
(5) 標準化された仕事や工場労働	54

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

外勤型か内勤型かなどが分かります

【大まかな職業興味領域とその方向性】

物を対象とする、具体的で実際的な仕事
 営業など対人的接觸をともなう仕事
 企画、組織の運営、経営管理のような仕事
 規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
 音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
 (6) 「努力」 研究的、探索的な仕事や活動の領域

【判定結果C】配置適性

ネックポイントが分かるので
 社員教育にも役立ちます

社員の「心の顔」をイラストで
 表現しています

D】配置適性1 の高い順

適度	人 事 管 理 者
適度	広 報 管 理 者
(3)	「適度」 営 業 管 理 者
(4)	「適度」 人 事 専 任 者
(5)	「小適」 広 報 専 任 者
(6)	「小適」 営 業 専 任 者

【低い順】

(1)	「努力」 経 理 専 任 者
(2)	「努力」 営 繕 専 任 者
(3)	「努力」 研 究 開 発 者
(4)	「努力」 経 理 管 理 者
(5)	「小適」 基 础 研 究 者

E】配置適性2

(1)	「適度」 物 流
(2)	「適度」 顧客開発
(3)	「適度」 営業 (活動タイプ)
(4)	「適度」 教育研修
(5)	「適度」 営業 (積極タイプ)
(6)	「適度」 受注窓口

(1) 「努力」 品質管理
(2) 「努力」 購 買
(3) 「努力」 総 務
(4) 「努力」 経 理
(5) 「努力」 編集校正

低 ← C U B I C の成績 → **高**

実線
内側
本人
□
他人
の比較
本的
能力
・
自己
評価
↓
低

現有社員適性検査 自己分析シート 診断結果サンプル 1/2

自己分析シートは、社員本人に
フィードバックする資料です

自己分析シート

Page 1

2021/04/26

2021年4

自分自身の社会性を数値で知
ることができます

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指數
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ	弱	強	35
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ	弱	強	47
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ	弱	強	64
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ	弱	強	54
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ	弱	強	39
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ	弱	強	48
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向	弱	強	44
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向	弱	強	53
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向	弱	強	50
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向	弱	強	54

「内側の内省」 「外側の「知性」・「判断」・「分析」」 「外側の「行動」・「弱気さ」」や

自分自身の性格面を数値で知
ることができます

キパキとしていて、体を動かしやすくていけば、実現!といえそうです。活発で

めりこみながら、自分ひとりでいのいだを楽しむより、てつとへんか細かいふつぶつとおしゃべりではありません。ときには手がけた仕事を途中で放りだすといった気分屋のところもみられます。現実的な発想ができる地に足の着いた行動派です。感覚的な部分もありますが、キチンと理詰めな考え方もできる人です。

●もう一方の性格特性

内にこもったところはなく、外向的な人といえます。関心は常に社会的な出来事に向かい、職場の雰囲気などにも気を使う、気配りのできる人です。自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというものは遠いところにいます。ただ、夢や空想、芸術的な生き方には興味がなく、ワビ・サビという部分は見られません。

<この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。

まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常的な生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモントージュを作成しました。外見的な顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。

2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。

あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手立てとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	強	指數
積極性・活発度	弱	強	55
周囲との協調性	弱	強	65
責任感・一貫性	弱	強	42
自分への信頼度	弱	強	44
指導・指示傾向	弱	強	56
仲間との共感性	弱	強	59
感情の安定度合	弱	強	32
他者への従順性	弱	強	43
自ら進んで実行	弱	強	54
社会的自我確立	弱	強	56

●「感情の安定度合」について

感情の安定度合とは、日常を含む精神面での落ち着きや、物事の処理、時間配分に対応する場合の感情リズムを表し、その時、場面での自己の波長がどの程度安定しているかを示しています。この傾向が低い場合は、

▼多少のことで動搖してしまうことがあります、誰かがいると落ち着いて作業ができないこともあります。

▼気分が落ち着かない、気持ちにムラがあるなど、その時、状況などによって調子が変化する

といったことが考えられます。仕事内容や役割分担を正しく理解し、仮に突然的に何か起こった時や気分的にヤル気が低下した場合でも、なるべく自分の気持ちを安定させ、状況を整理しようとする努力が必要です。

●「周囲との協調性」について

周囲との協調性とは、人との輪を大切にし、他人への協力などを惜しまない姿勢のことです。仲間と共に目標に向かう時や、組織内での集団作業を円滑にすすめるために必要なものですが、この傾向が強い場合は、

▼自分の考えがあつても、周囲の意見やその場の雰囲気によれられ、それに合わせてしまう

▼他人のことを考えすぎて、自らの積極的な提案や結論が出来なくなってしまう

といった行動になることがあります。組織では協調性も大切なことです、もう少し自己主張をしてみたり、自分らしさをアピールするとグループ全体の活気にもつながり、新たな展開等が生まれる可能性もあります。

弱みについて説明するとともに、
良い方向に伸ばすためのアドバイス
を提示しています

自立性にこだわってよい → 直面する
人と一緒にいるのが好き → 笑った口元

となり、右のような顔ができることがあります。



現有社員適性検査 自己分析シート 診断結果サンプル 2/2

自己分析シートは、社員本人に
フィードバックする資料です

自己分析シート

Page 2

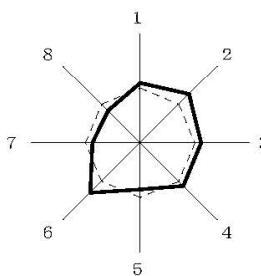
2021/04/26

2021年4月

東京 太郎

4 仕事場面での対応力

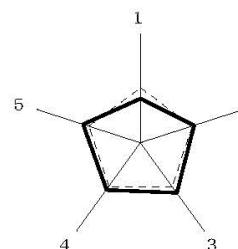
■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



- 1 : 積極性・活発度 55
2 : 働く事への意欲 64
3 : 指導・指示傾向 56
4 : 上下関係を意識 56
5 : 自己アピール度 43
6 : 周囲との協調性 65
7 : 自分への信頼度 44
8 : 逆境に耐える力 42

どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子がうかがえます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようですが、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画なども力を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後ますますの健闘を期待します。

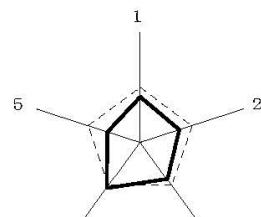
■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



- 1 : 独自の行動指針 41
2 : 実力・能力主義 52
3 : 傷習・慣行打破 57
4 : 自ら進んで実行 54
5 : 行動の自己管理 56

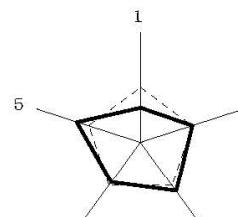
新しいことに興味はあるものの、積極的に押し進めるまでにはならないようです。自分らしい興味があっても、周囲との調和や雰囲気に逆らってまではしたくないでしょう。個人的な気持ちを抑えることも大切ですが、新しい環境においては自分から進んでいく必要があります。ときには脱日常を目指してみましょう。

■ねばり強く最後までやろうとする傾向



- 1 : 責任感・一貫性 42
2 : 規律正しい行動 38
3 : 他者への従順性 43
4 : 安全・安定傾向 53
5 : 感情の安定度合 32

■強い意志を持ち前に進もうとする傾向



- 1 : 感情の安定度合 32
2 : 思い切った行動 50
3 : 社会的自我確立 56
4 : 明るく、積極的 46
5 : 多様さの受け入れ 62

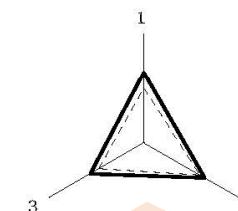
自己分析シートは、診断結果を見た社員が自分の可能性を伸ばしていくことを目的としているため、会社用に比べて表現がやわらかく、より理解しやすい内容となっています

—— : あなたの得点
----- : 基準(50点)

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較

—— : 自己評価
----- : 行動予測



- 1 : ヤル気の表出度 自己評価 65
行動予測 50
2 : 管理・対人能力 自己評価 65
行動予測 60
3 : 思考能力の発揮 自己評価 57
行動予測 48

自己評価とCUBICの評価を比較し、どれだけの差があるか、過剰評価や過小評価の問題点も含めてアドバイスしています

周囲の意見をよく聞く、受け持つの仕事内容の理解を深める、目標を再確認するなど、小さなことから始めてみましょう。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を発揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動搖しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していくなくては、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがつとまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について

自分自身を客観的に見ている一面があり、必要以上に過信することはないのですが、反面、自分の限界を勝手にここだと決めてしまい、それ以上の力を出せなくしています。単にわかっているだけではなく、日頃から関係する分野に関する情報収集に努めるといいでしょう。専門知識や技術力などは、一朝一夕で身につくものではありません。小さいことの積み重ねが自信につながります。適当なところであきらめてしまうことなく、ひとつひとつのことを突き詰めて考えてみると、そこから新しい突破口が見いだせます。